

グリーン経営を取得

全運転者が環境意識持つ

【三重】中田商事(中)を張る。

田純一社長、伊賀市)はこのほど、グリーン経営の認証を取得した。

キックオフは今年に入ってからだったが、

従来から全車両デジタコ導入による燃費管理の徹底など、一定の取り組みをしていたことから中田社長は、「何の問題もなく取得できると思っていた」と胸



認定取得の専任者の坂口氏

事実、特段の苦勞もなく認証を取得したわけだが、「せっかく取得するなら社員を成長させたい」と、同社の取締役で環境・安全の責任者だった坂口和彦氏を、認証取得の専任者として、すべてを任

せた。坂口氏は、「(認証)取得自体はほとんど苦勞しなかった」と言うが、「すべてのドライバーに環境意識を維持させるのに苦勞した」と語る。

燃費二〇%削減も大幅にクリア。四ノ車ワイドでリッター七・八五キ、十ノ車で四・二五キという驚異的な燃費をたたき出すドライバーまで出てきた。

中田社長は、「ノミは自身の百六十倍の跳躍力があるが、フタを叩いて頭を押さえつける、それ以上は跳べなくなってしまう。人間も同じで、自分の限界を自分で決めずに努力を続けなければ必ず成長する。人材を人財にするのがリーダーの責任だ」と思っている」と、認証取得よりもドライバーと担当者の成長ぶりに目を細める。

そのために各ドライバーの燃費を毎月、表グラフにして社内張り出し、表彰制度を導入するなど、さまざま工夫をした。その結果、「競争意識が芽生え、より意識が高くなった」と言い、キックオフで目標に掲げた

坂口氏自身、「すべてを任せられたときは戸惑ったが、良い経験になった。次は今年七月からスタートした倉庫事業向けのグリーン経営に取り組んでいきたい」と、これまでの努力を振り返り、今後へのさらなる意欲を見せ

(加藤 崇)